

令和3年度第2回モニターアンケート
区内の公園・緑地・植物園について

－ 目 次 －

ページ

アンケート概要		1
基本情報		
問1	あなたの年齢は	2
問2	あなたのお住まいの地域は（町丁目まで）	2
問3	区内にお住まいの年数は	3
問4	あなたの職業は	3
みどり全般について		
問5	公園や緑地に行く場合の目的を教えてください。（複数回答可）	4
問6	公園や緑地にあつたらいいと思う機能を教えてください。（複数回答可）	5
問7	みどりに関するイベントや活動で、参加したいものを教えてください。（複数回答可）	6
問8	普段、園芸や農業など、みどりに触れる機会がありますか。	7
問9	問8で「はい」の選択肢を選んだ方にお伺いします。板橋区で行いたいことはありますか。（複数回答可）	7
問10	問8で「いいえ」の選択肢を選んだ方にお伺いします。みどりに触れる機会のない理由は何ですか。（複数回答可）	8
問11	問8で「いいえ」の選択肢を選んだ方にお伺いします。どのようにしたらみどりに触れようと思いませんか。（複数回答可）	9
問12	板橋区のみどりに関する情報で、知りたいもの・欲しいものは何か教えてください。（複数回答可）	10
問13	問12の情報は、どのような媒体で得たいですか。（複数回答可）	11
問14	コロナ禍を踏まえ、板橋区が実施すべきだと思う「みどりに関する取組」の提案があれば、教えてください。【自由回答】	12
区立赤塚植物園について		
問15	あなたはこれまで赤塚植物園に行ったことがありますか。	13
問16	赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。赤塚植物園へ行った際の主な交通手段を教えてください。（複数回答可）	13

問17	赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。主な滞在時間はどれくらいですか。	14
問18	赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。赤塚植物園はどんな施設だと思いますか。（複数回答可）→回答後、問20へ	14
問19	あなたが赤塚植物園に行ったことがない理由は何ですか。（複数回答可）	15
問20	よく利用する区の施設はどこですか。（複数回答可）	16
問21	インターネットやSNSを活用し、みどりに関する動画の視聴や、情報交換をしたいですか。	17
問22	赤塚植物園でどんなイベントがあったら良いと思いますか。（複数回答可）	18
問23	赤塚植物園がどのような場所になると良い・行きたい と思いますか。（複数回答可）	19

※ n (number of cases) は、その設問に対する回答者の総数を示しています。
 質問によっては複数の回答を得たものがあります。
 また、質問によっては、回答がなかった、もしくは、択一選択の質問に複数の回答があったため、総数について整合がとれていない部分があります。

1 アンケート概要

区内の公園・緑地・植物園について

2 調査目的

板橋区では、区の将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」の実現に向けて、いたばしグリーンプラン2025の“みどり（※）”でつなぐ《ひと・まち・みらい》の計画テーマのもとに様々なみどりに関する取り組みを進めています。

区立赤塚植物園（赤塚5-17-14）は区立の屋外型植物園として23区唯一の施設です。園内には、武蔵野の面影を色濃く残す丘陵地に生きる植物や、みどりの学習室（※）や万葉・薬用園、農業園などがあり、板橋区の緑の保全、緑化啓発、区民の憩いの場など、様々な機能を備えています。近年、管理舎の改築や園内園路整備などのリニューアルを行いました。

区内の公園や緑地、赤塚植物園に関する区民の方々の意識や利用実態、要望等を確認し、今後の事業展開に資するため、アンケート調査を実施します。

※みどり：本アンケートにおいては、樹林や樹木など植物としての緑、公園・緑地などのオープンスペースや農のみどり、河川の水辺や湧水、鳥や昆虫などの自然要素も含んだ、広い範囲での“みどり”をいいます。

※みどりの学習室：植物図鑑をはじめ、自然環境や緑化、農業など植物にまつわる図書を揃えたライブラリーで、自由に閲覧できます。職員が常駐しており、植物の生態、種類、育て方、病虫害の対策など、植物教育や家庭菜園に関する質問にお答えしています。

3 調査対象

- (1) いたばし・タウンモニター 48名
- (2) いたばし・eモニター 170名

4 調査方法

- (1) いたばし・タウンモニター 郵送及びインターネット回答
- (2) いたばし・eモニター インターネット回答

5 調査期間

- (1) いたばし・タウンモニター
令和3年9月16日（木）から令和3年9月30日（木）まで
- (2) いたばし・eモニター
令和3年9月16日（木）から令和3年9月30日（木）23時59分まで

6 アンケート作成部署

みどりと公園課

7 回答結果（回答率）

	回答数（人）	回答率（％）
タウンモニター	33人	68.8%
eモニター	46人	27.1%
計	79人	36.2%

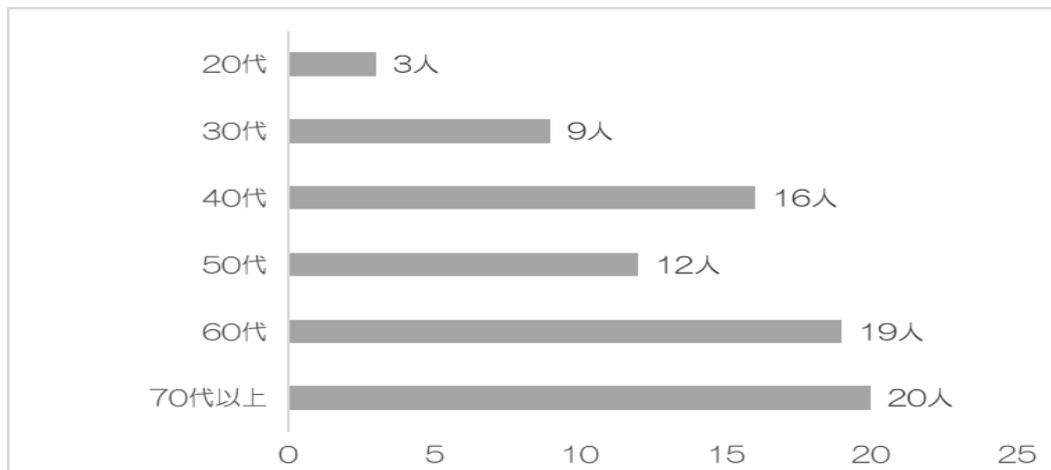
8 その他

紙面の関係上、同様の内容のものについては要約・省略をしているものもあります。また、ご意見・ご要望等で、アンケートに関連のない内容等については、割愛させていただきました。

回答の比率（％）は、小数点第二位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100％にならない場合があります。

基本情報

問1 あなたの年齢は



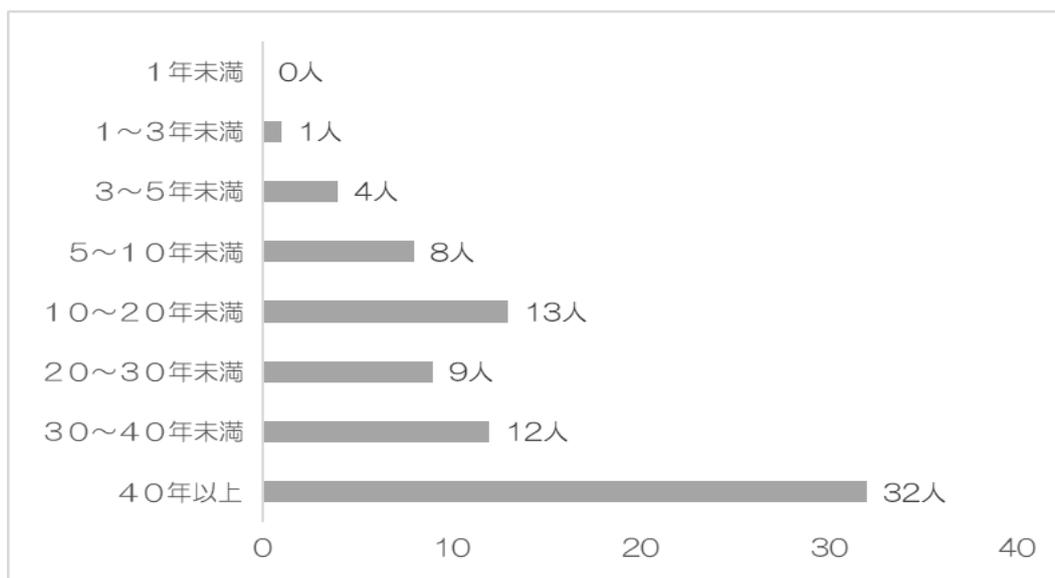
n=79

問2 あなたのお住まいの地域は（町丁目まで）

赤塚一丁目	1	加賀一丁目	4	高島平七丁目	1	蓮根三丁目	3
赤塚二丁目	1	加賀二丁目	1	高島平九丁目	1	東山町	1
赤塚四丁目	1	熊野町	1	東新町二丁目	1	氷川町	1
赤塚五丁目	2	小茂根一丁目	2	常盤台三丁目	2	双葉町	1
赤塚六丁目	2	小茂根三丁目	1	常盤台四丁目	1	舟渡一丁目	2
小豆沢二丁目	1	幸町	3	徳丸一丁目	1	舟渡二丁目	2
小豆沢三丁目	2	坂下一丁目	1	徳丸四丁目	1	前野町一丁目	1
泉町	2	坂下二丁目	1	徳丸五丁目	1	前野町二丁目	3
板橋二丁目	1	坂下三丁目	2	徳丸七丁目	1	前野町五丁目	1
板橋四丁目	1	清水町	1	中台三丁目	4	南常盤台一丁目	1
板橋五丁目	1	志村一丁目	1	中丸町	2	向原二丁目	1
大谷口北町	2	高島平一丁目	1	蓮沼町	1	若木一丁目	1
大谷口二丁目	1	高島平二丁目	1	蓮根一丁目	2		
大山町	2	高島平四丁目	1	蓮根二丁目	1		

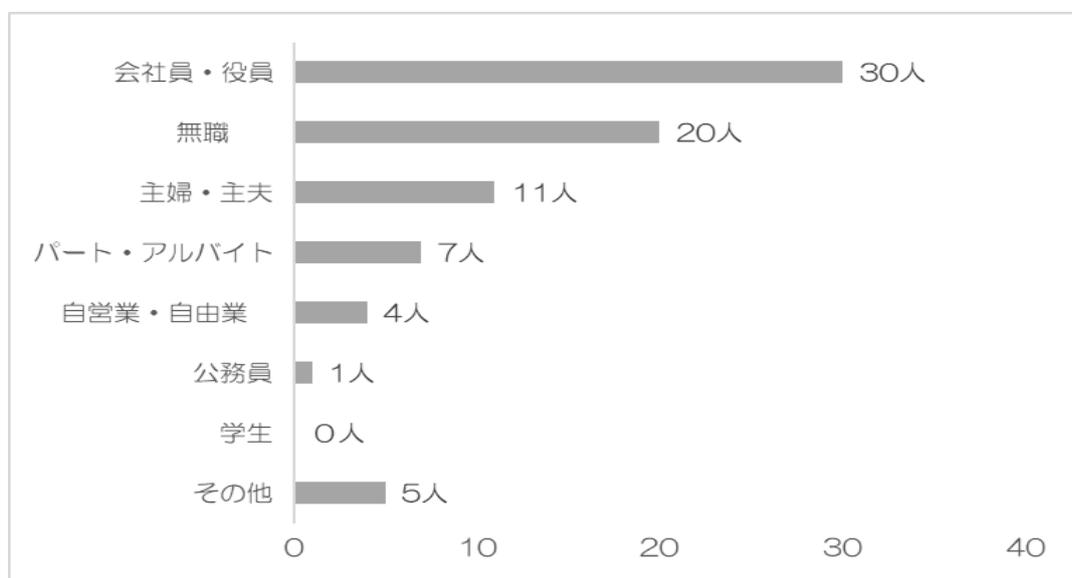
n=79

問3 区内にお住まいの年数は



n=79

問4 あなたの職業は



n=78

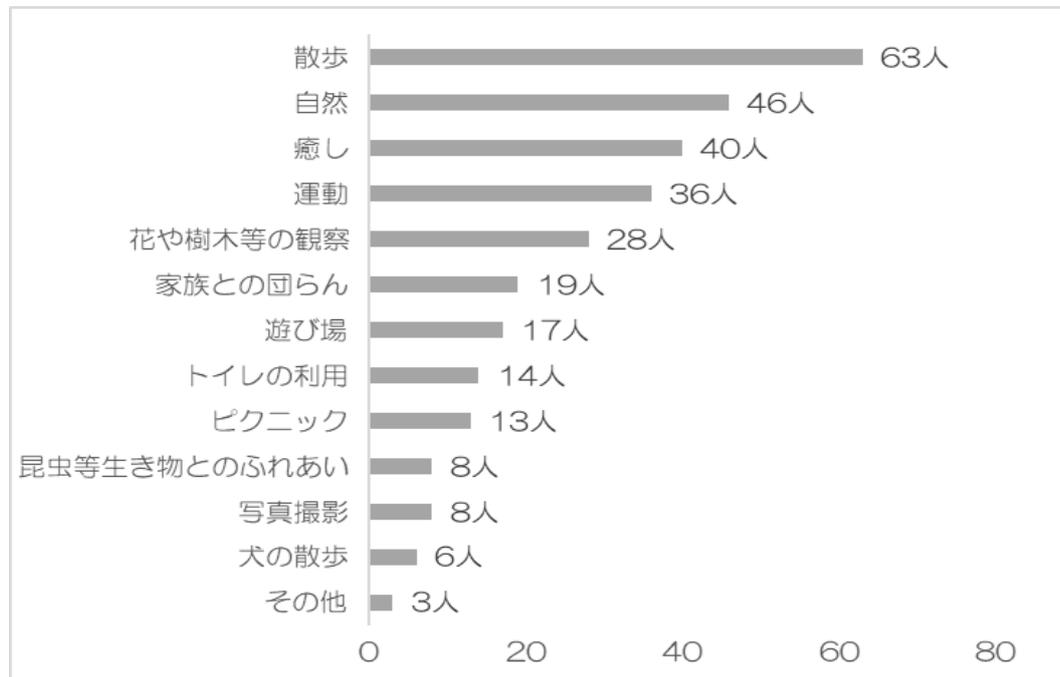
未回答=1

〈その他の回答〉

・医師 ・非常勤講師 ・NGOボランティア ・茶道講師 ・公益法人非常勤役員

みどり全般について

問5 公園や緑地に行く場合の目的を教えてください。（複数回答可）



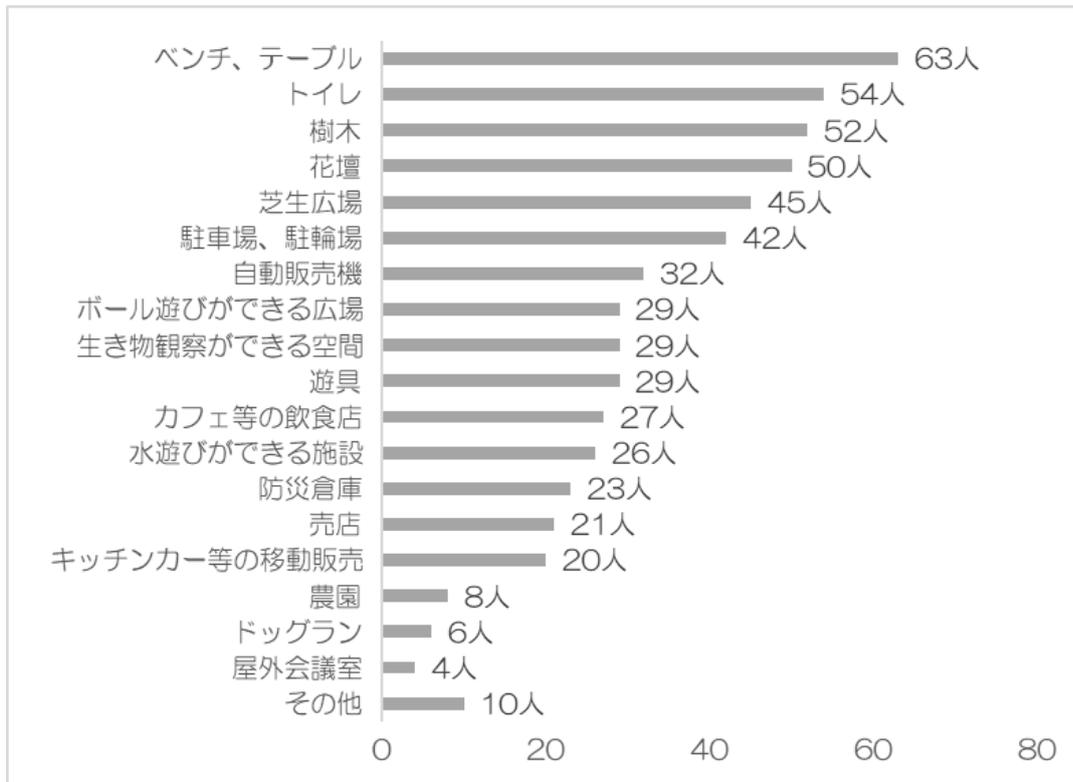
n=79

〈その他の回答〉

- 老人会でのペタンク、輪投げ
- コロナ禍で3密を避けるため、知人との会話・歓談に利用

「散歩」と回答した人が63人（79.7%）で最も多かった。次いで、「自然」と回答した人が46人（58.2%）だった。

問6 公園や緑地にあつたらいいと思う機能を教えてください。
(複数回答可)



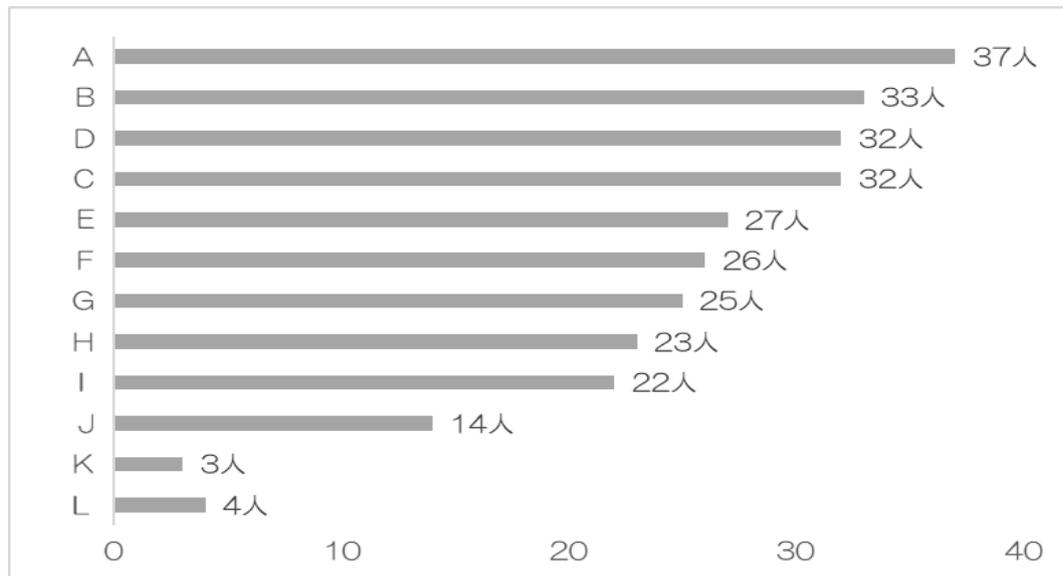
n=79

〈その他の回答〉

- ・テントを広げても良い場所
- ・防犯カメラ
- ・ボール遊び専用の施設
- ・その場所の近くにある観光スポットの案内や地図
- ・地産野菜販売
- ・花や樹木の名前や簡単な特徴などを標記した札の掲示
- ・バーベキュー施設

「ベンチ・テーブル」と回答した人が63人（79.7%）で最も多かった。次いで、「トイレ」と回答した人が54人（68.4%）だった。

問7 みどりに関するイベントや活動で、参加したいものを教えてください。（複数回答可）



n=78

未回答=1

A	ウォーキングや体操・ヨガなどの健康づくり	G	落ち葉清掃や野草保護などのボランティア活動
B	野菜づくりや収穫などの農体験	H	緑のカーテン（※）収穫体験や実（へちま・にがうり等）の利活用体験
C	地元商店等のマルシェ（※）出店	I	キャンプやバーベキュー体験（初心者向け）
D	良好な自然環境が残された崖線樹林地などの探索、自然観察会	J	自然のフォトコンテスト
E	まちなかの自然（植物・昆虫・野鳥など）発見ツアー	K	A～Jなどを自ら企画・運営する活動
F	ガーデニング講習会	L	その他

※緑のカーテン：つる性の植物を窓の外にカーテンのように、夏の強い日差しや外からの熱を和らげる手法。

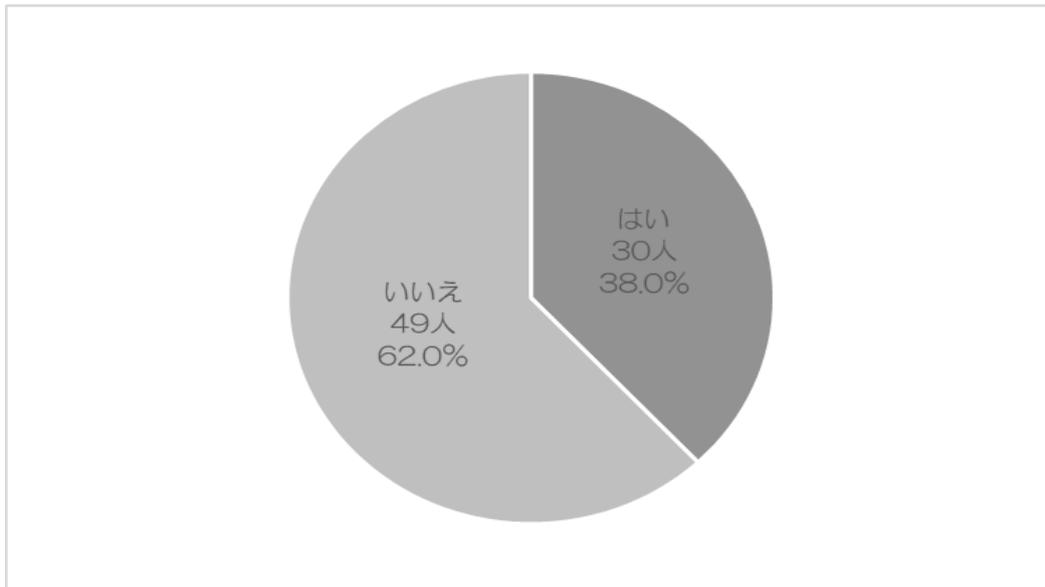
※マルシェ：フランス語で「市場」を意味する言葉です。単位のお店が人が集まる場所に出店した集合体を指します。

〈その他の回答〉

- ・収穫物を使った、料理教室やお菓子作り教室を年代別で開いてほしい（年代によって嗜好が違うので）。また、お皿のチョイスや盛り付けも教えてほしい
- ・イベント等がない静かな空間
- ・植樹、葉脈しおり作り、アサガオ染め、発芽や花粉やダンゴムシのフンを顕微鏡等で観察

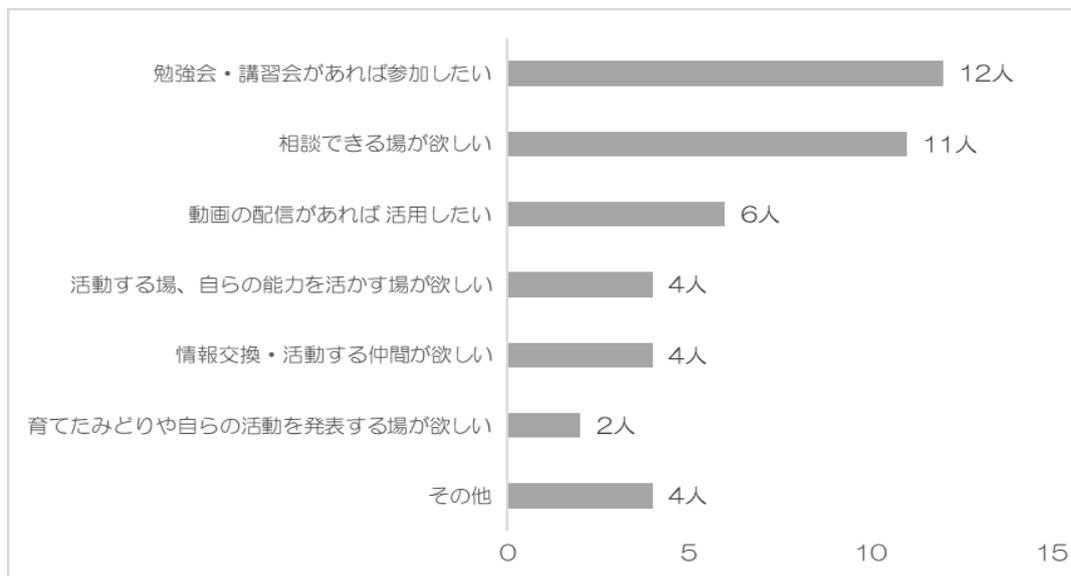
「ウォーキングや体操・ヨガなどの健康づくり」と回答した人が37人（47.4%）で最も多かった。次いで、「野菜づくりや収穫などの農体験」と回答した人が33人（42.3%）だった。

問8 普段、園芸や農業など、みどりに触れる機会がありますか。



n=79

問9 問8で「はい」の選択肢を選んだ方にお伺いします。板橋区で行いたいことはありますか。（複数回答可）



n=27

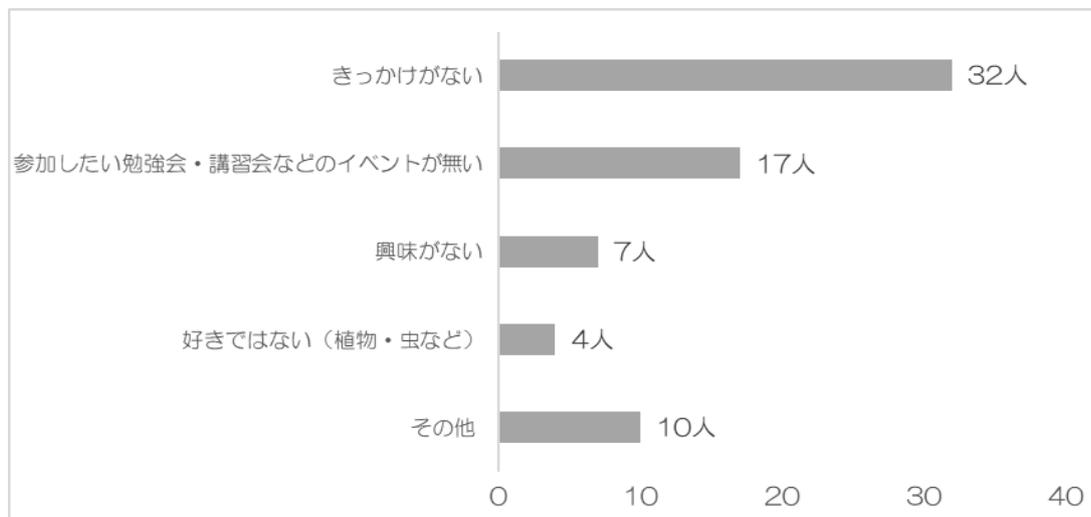
未回答=3

〈その他の回答〉

- ・地域での苗の販売会
- ・子どもに農業体験をさせたい

「勉強会・講習会があれば参加したい」と回答した人が12人（44.4%）で最も多かった。次いで、「相談できる場が欲しい」と回答した人が11人（40.7%）だった。

問10 問8で「いいえ」の選択肢を選んだ方にお伺いします。みどりに触れる機会のない理由は何ですか。（複数回答可）



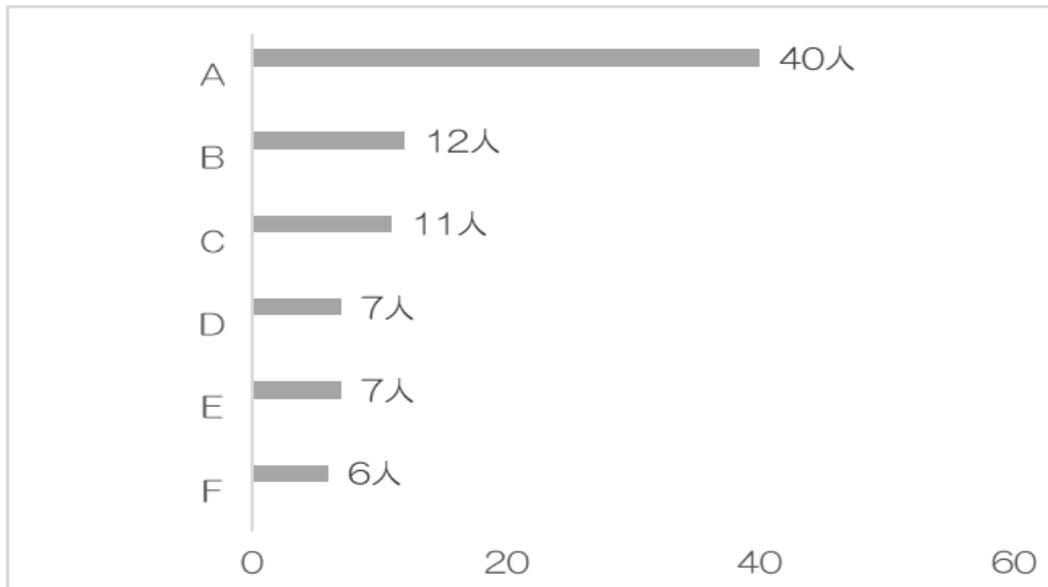
n=49

〈その他の回答〉

- 魅力的な自然が近くにない
- 子育てで忙しい
- 時間的余裕がない
- 場所がない（マンション暮らし）、まめにお世話する時間がない

「きっかけがない」と回答した人が32人（65.3%）で最も多かった。次いで、「参加したい勉強会・講習会などのイベントが無い」と回答した人が17人（34.7%）だった。

問11 問8で「いいえ」の選択肢を選んだ方にお伺いします。どのようにしたらみどりに触れようと思いますか。（複数回答可）



n=44

未回答=5

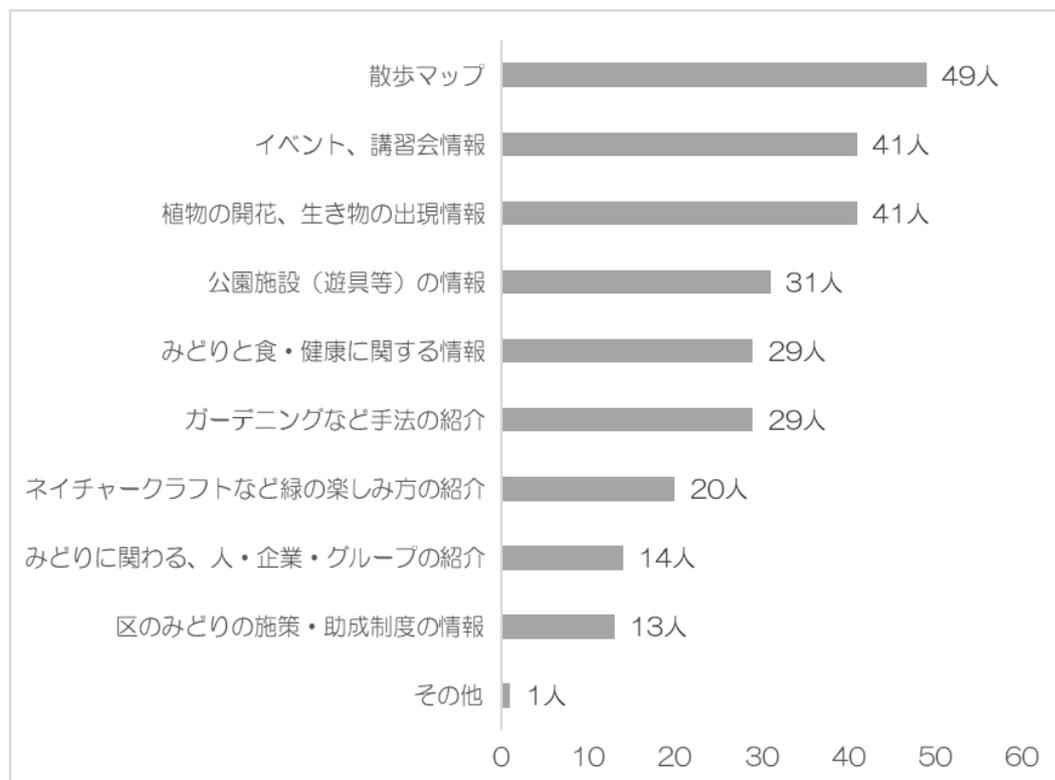
A	気軽に参加できるイベント（途中参加可、無料、登録不要等）があれば、参加したい
B	講習会など教えてくれる場があればやってみたい
C	仲間がいればやってみたい
D	動画などわかりやすい解説があればやってみたい
E	資材や場所の提供、助成金などがあれば、やってみたい
F	その他

〈その他の回答〉

- ・子どもメインと一緒に参加できるイベント（芋掘りのようなイメージ）があれば
- ・近所で情報があれば

「気軽に参加できるイベント（途中参加可、無料、登録不要等）があれば、参加したい」と回答した人が40人（90.9%）で最も多かった。次いで、「講習会など教えてくれる場があればやってみたい」と回答した人が12人（27.3%）だった。

問12 板橋区のみどりに関する情報で、知りたいもの・欲しいものは何か教えてください。（複数回答可）



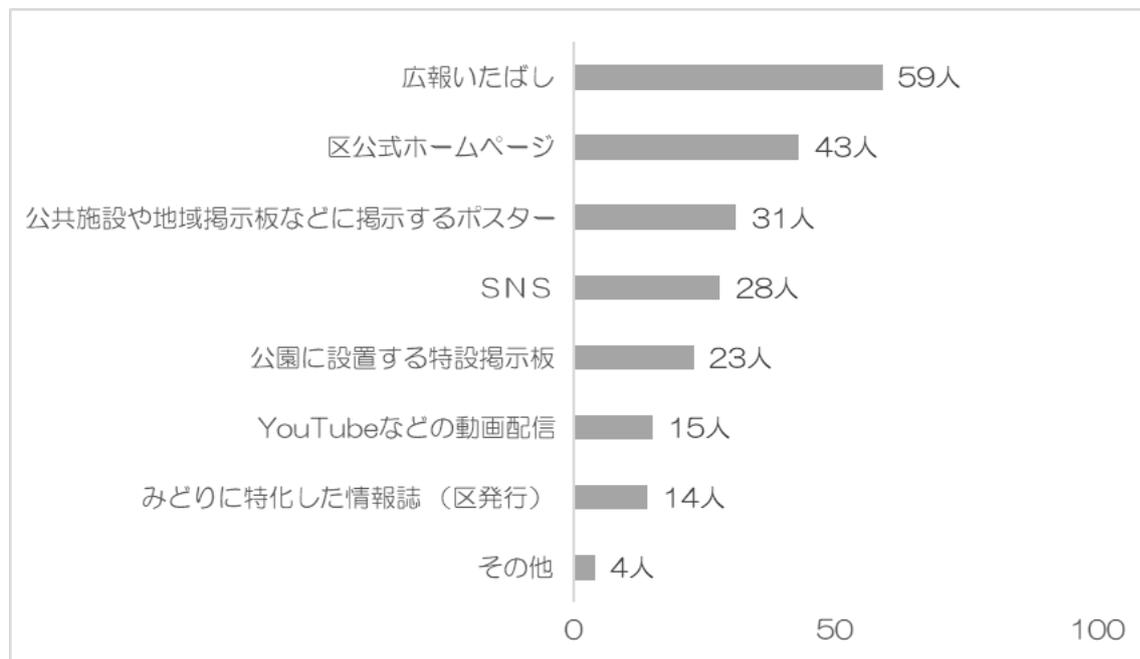
n=79

〈その他の回答〉

- 区内の公園、公道等に植樹された樹木等の名称や科目、植樹年などの情報プレートを付けて欲しい。

「散歩マップ」と回答した人が49人（62.0%）で最も多かった。次いで、「イベント、講習会情報」と「植物の開花、生き物の出現情報」と回答した人が41人（51.9%）だった。

問13 問12の情報は、どのような媒体で得たいですか。（複数回答可）



n=79

〈その他の回答〉

- 板橋タイムズ
- ITA-Port
- 幼稚園や保育園で配られるチラシ
- 駅などの公共機関

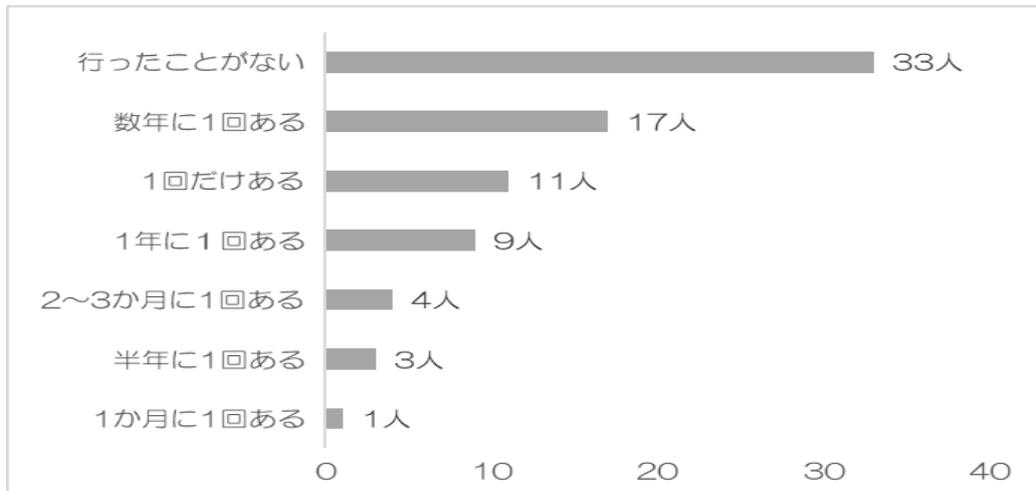
「広報いたばし」と回答した人が59人（74.7%）で最も多かった。次いで、「区公式ホームページ」と回答した人が43人（54.4%）だった。

問14 コロナ禍を踏まえ、板橋区が実施すべきだと思う「みどりに関する取組」の提案があれば、教えてください。【自由回答】

- YouTubeチャンネルでみどりに対する取組みを伝える
- 動画やwebコンテンツにて区の活動を紹介する
- インターネットやSNS等を活用して対面以外の方法でも取り組める工夫をしていくこと
- SNSを活用して、四季を感じられる広報
- 広報いたばしや区公式ホームページなどの媒体を活用した積極的な情報発信。園児、児童など幼いうちから自然の中でみどりに触れる機会の提供
- 石神井川沿いの遊歩道の有効活用。見どころ配信など
- 自宅で育てた野菜植物、それらに寄ってきた昆虫、鳥などを投稿するサイトの作成
- 街路樹や花壇の手入れ、美的な強化
- 保全の継続
- 板橋は緑が多いイメージだが何事も維持する事が大変なのでこのままでもいいのでは
- みどりの少ない地域に緑道などを増やしていく
- 今は人を集めるより、少しずつ緑を増やす方がいいのでは
- 精神的に落ち着きを与える「みどり」の散策路の整備と憩う場所
- 三密を避け、短時間で少人数のイベント
- 公園や緑と触れ合うことが心と体の健康を保つので、コロナ禍でのルールを公園の現地・広報媒体等により具体的に強く示してほしい
- こんな時期だからこそ緑や自然環境、また、垣根を越えて歴史や文化ともコラボした時空間を設けてほしい
- 家族連れが、混み合うこと無く、散策できる空間の創出
- 庭先、ベランダなど狭い場所で行えるガーデニングや家庭菜園の育て方の促進策
- ガーデニング勉強会をとおしてコミュニティーを図る取組、種の配布や廉価販売
- 野菜づくりや収穫などの農体験の取組
- ウォーキングイベント（チェックポイントを設けて指定のコースをウォーキング）
- 「まち歩きマップ」のような植物生物の生息マップがあるといい
- ホタル観賞
- 区民農園を板橋区の西側に増やしてほしい
- 人の集まる公園とそうでない公園の差が激しい。人の集まらない公園は、特色を出し改善することで公園の一極集中を分散していく
- 樹木の老木化で（特に桜など）寿命を迎えており病虫害や腐食等で倒木が増えているため、助成制度を取り入れてほしい
- 地域の環境保全に寄与するため、樹木バンクを創設して寄付金を募る

区立赤塚植物園について

問15 あなたはこれまで赤塚植物園に行ったことがありますか。

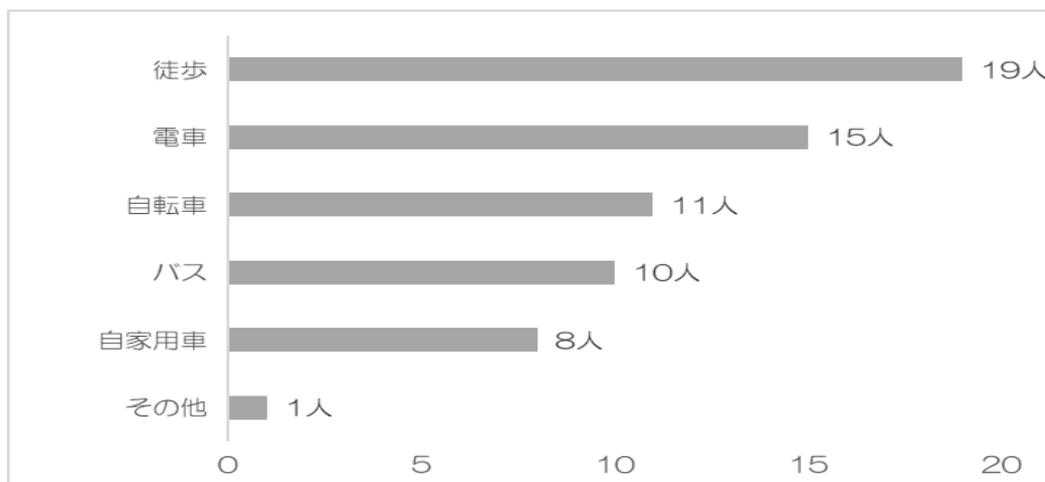


n=78

未回答=1

「行ったことがない」と回答した人が33人（42.3%）で最も多かった。次いで、「数年に1回ある」と回答した人が17人（21.8%）だった。

問16 赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。赤塚植物園へ行った際の主な交通手段を教えてください。



n=44

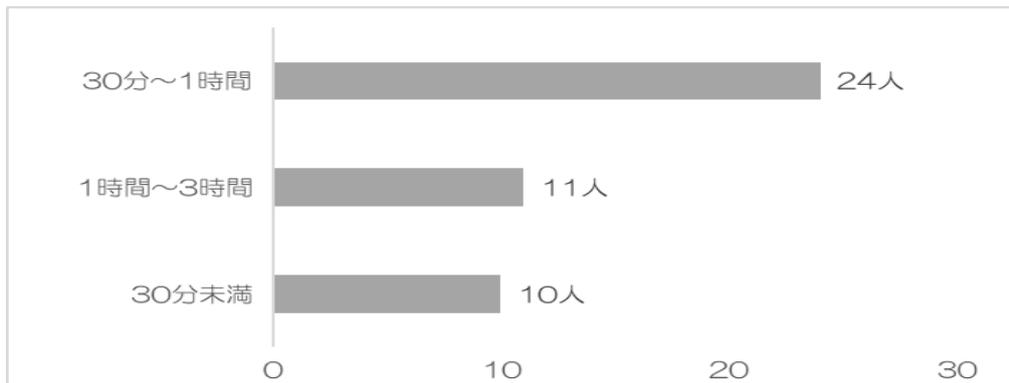
未回答=1

〈その他の回答〉

- ・無料の駐車場が欲しい

「徒歩」と回答した人が19人（43.2%）で最も多かった。次いで、「電車」と回答した人が15人（34.1%）だった。

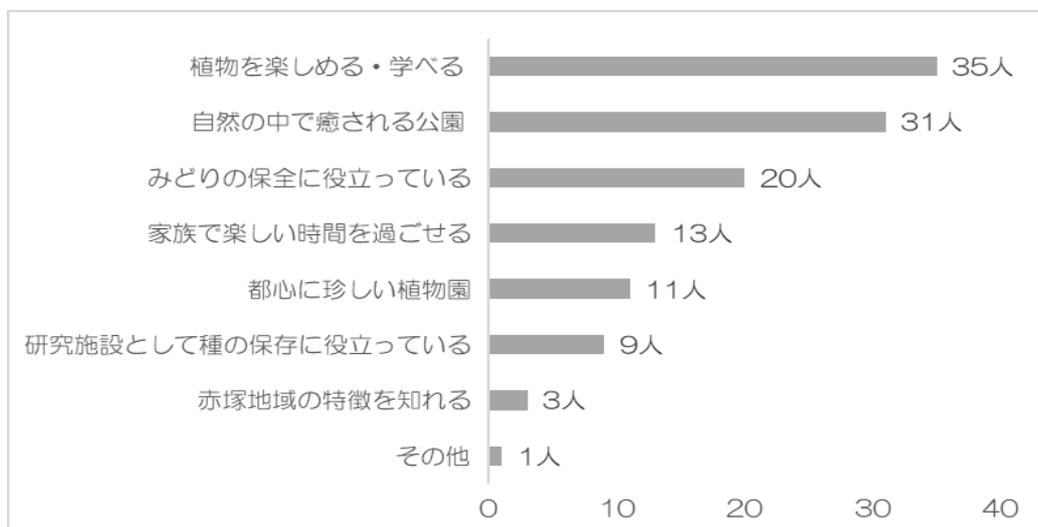
問17 赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。主な滞在時間はどれくらいですか。



n=44
未回答=1

「30分～1時間」と回答した人が24人（54.5%）で最も多かった。次いで、「1時間～3時間」と回答した人が11人（25.0%）だった。

問18 赤塚植物園に行ったことがある方にお伺いします。赤塚植物園はどんな施設だと思いますか。（複数回答可）→回答後、問20へ



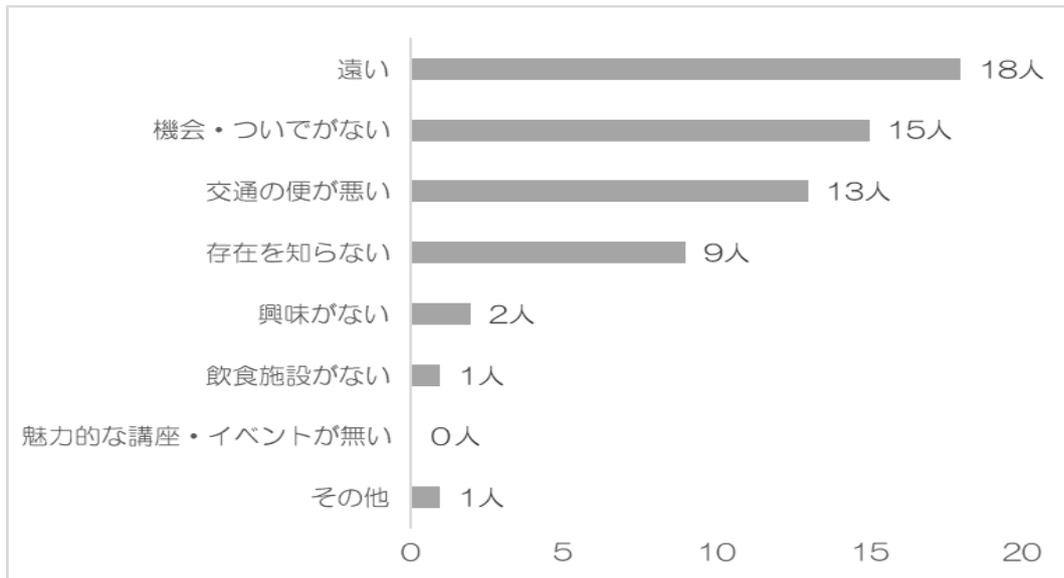
n=44
未回答=1

〈その他の回答〉

- ・四季の植物がある。

「植物を楽しめる・学べる」と回答した人が35人（79.5%）で最も多かった。次いで、「自然の中で癒される公園」と回答した人が31人（70.5%）だった。

問19 あなたが赤塚植物園に行ったことがない理由は何ですか。
(複数回答可)



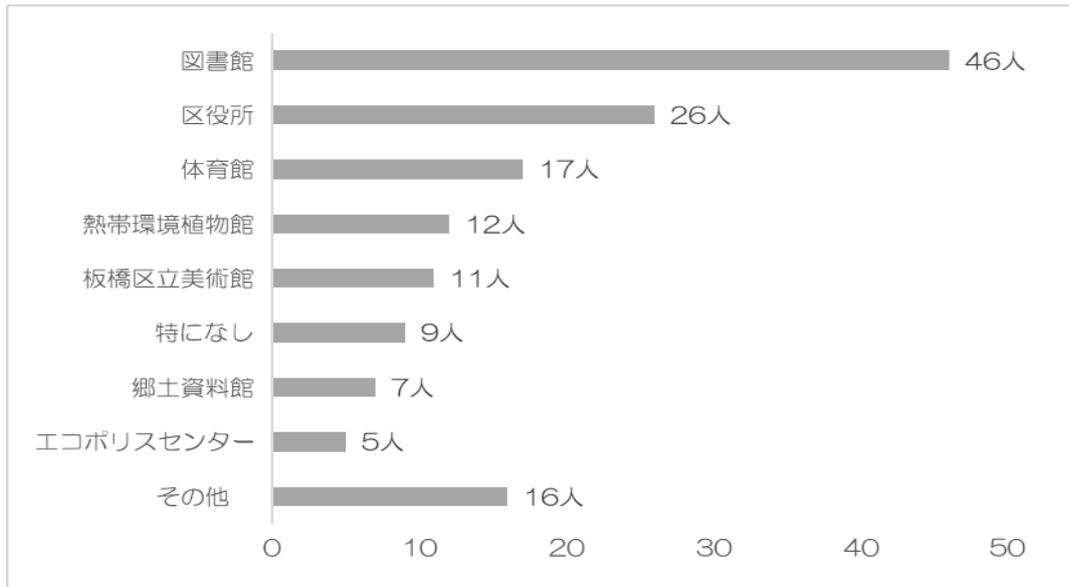
n=33

〈その他の回答〉

- 犬を連れて入れない。

「遠い」と回答した人が18人（54.5%）で最も多かった。次いで、「機会・ついでがない」と回答した人が15人（45.5%）だった。

問20 よく利用する区の施設はどこですか。（複数回答可）



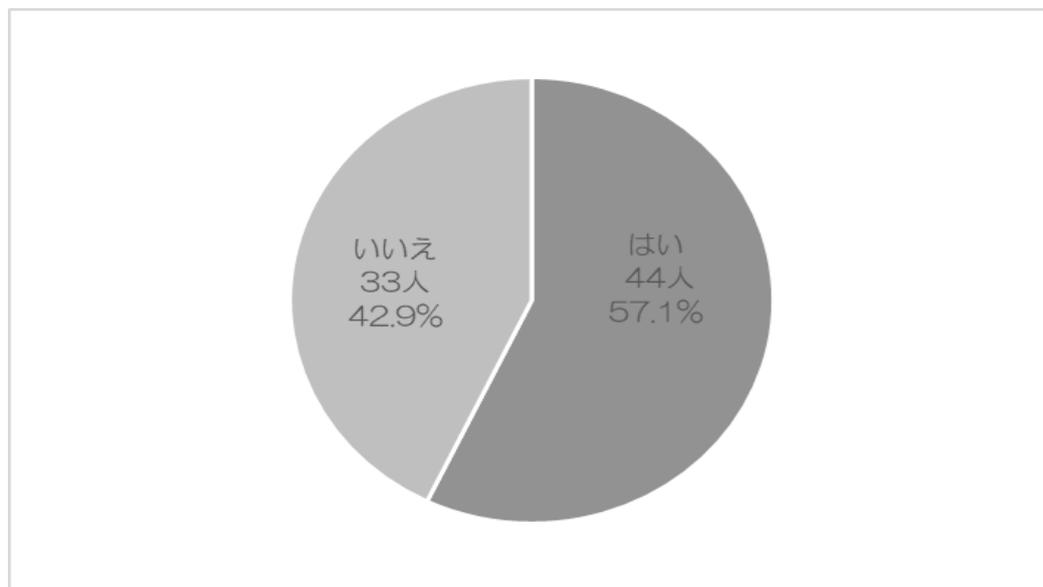
n=79

〈その他の回答〉

- 集会所
- 地域センター
- 健康福祉センター
- 体育施設（プール等）
- 小学校
- 教育科学館
- グリーンホール
- 東板橋公園（こども動物園）
- 児童館
- 城北公園
- 区民事務所

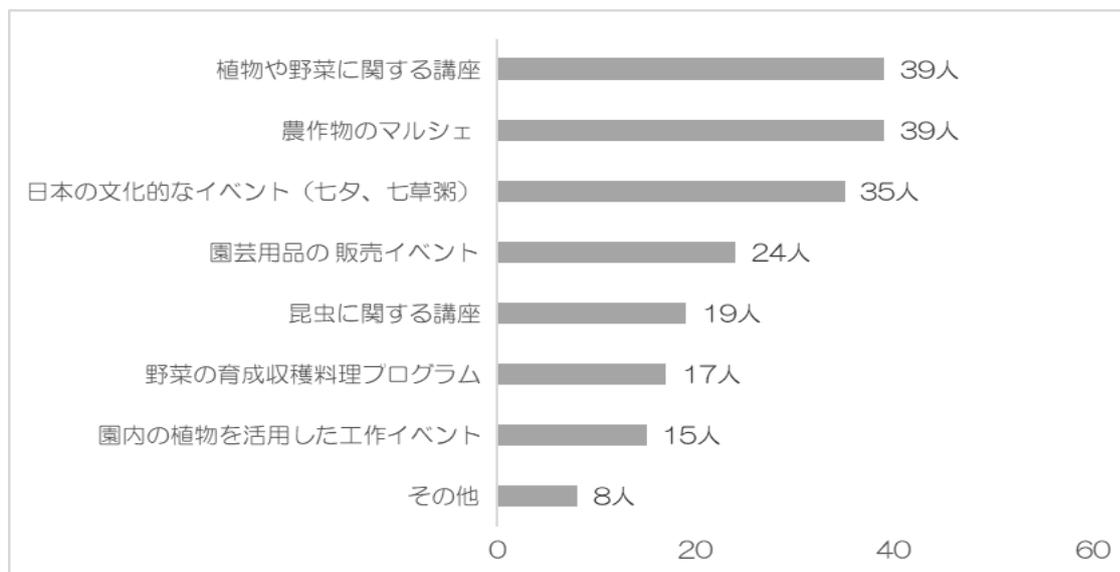
「図書館」と回答した人が46人（58.2%）で最も多かった。次いで、「区役所」と回答した人が26人（32.9%）だった。

問21 インターネットやSNSを活用し、みどりに関する動画の視聴や、情報交換をしたいと思いますか。



n=77
未回答=2

問22 赤塚植物園でどんなイベントがあったら良いと思いますか。
(複数回答可)



n=78

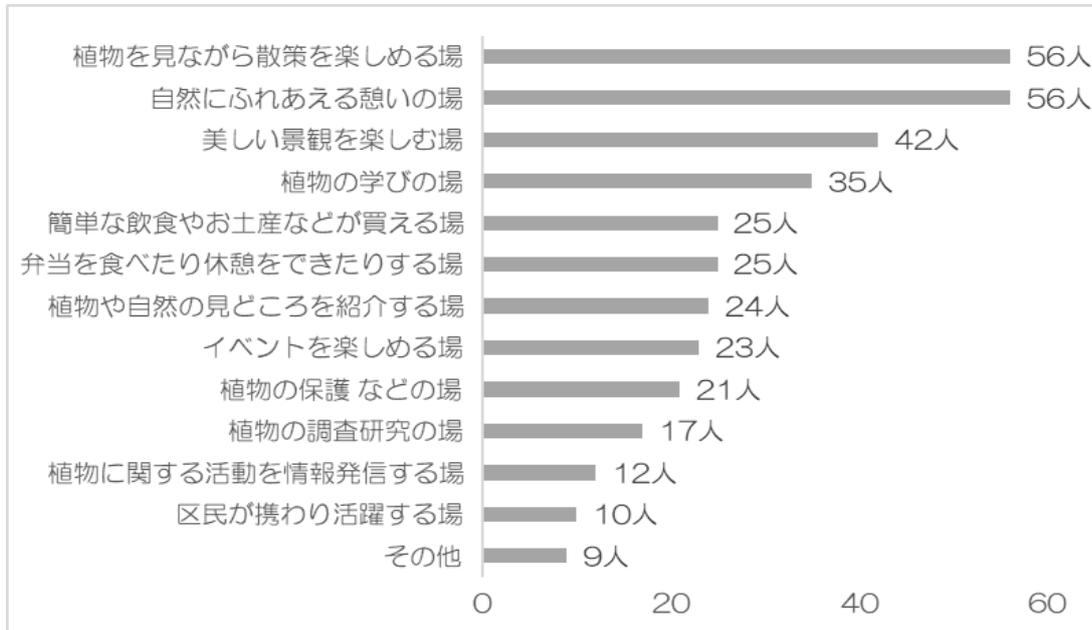
未回答=1

〈その他の回答〉

- シャボテン公園みたいな、動物とのふれあいなどの動植物融合企画
- 昆虫標本作り
- みどりの育て方や悩み事など、初心者でもわかりやすく質問に答えてくれるコーナー
- コンサート等

「植物や野菜に関する講座」と「農作物のマルシェ」と回答した人が39人（50.0%）で最も多かった。次いで、「日本の文化的なイベント（七夕、七草粥）」と回答した人が35人（44.9%）だった。

問23 赤塚植物園がどのような場所になると良い・行きたいかと思いませんか。（複数回答可）



n=78

未回答=1

〈その他の回答〉

- ・自然の中でかわいい動物に出会えたら、子ども、ファミリー、インスタ映えを狙った来訪者も増えるのではないかな
- ・以前訪れた時、赤塚植物園は調査研究の場になっているのだと思いますが、そうした調査研究の結果が工夫され、区民に向けて公開されているとは言えないと感じた。区だけで静かに運営している一施設に留めるのではなく、広く区民にとって重要だと思える施設にしていく
- ・来園者同士の交流が生まれる場
- ・SNSで映えるような景観の工夫
- ・緑や花を上手く取り入れたゆったりとした時間を過ごせるカフェ。20代~30代のカップル、若い娘と母親、ベビーカーに乗ってる赤ちゃんと若いママが気分転換に…等をターゲットにしたようなお店があると、行きたくなる。豊島区の東池袋の公園の様な空間が欲しい
- ・自然農法による田植えや野菜栽培をしていて、虫もたくさんいる

「植物を見ながら散策を楽しめる場」と「自然にふれあえる憩いの場」と回答した人が56人（71.8%）で最も多かった。次いで、「美しい景観を楽しむ場」と回答した人が42人（53.8%）だった。



いたばし・タウンモニター いたばし・eモニター 令和3年度 第2回アンケート報告書
区内の公園・緑地・植物園について

令和3年 11月発行
板橋区政策経営部 広聴広報課 (3579)2024

刊行物番号
R03-91